山口大学医学部附属病院

形成外科

●診療科の特色

形成外科は機能のみならず形態的にもより正常に，より美しく！することによって患者さんの QOL の向上に貢献する外科系診療科です．頭から趾先まで全身の身体表面を治療対象としていますが，特に以下の 3 分野に力を入れています．

形成外科
- ・皮膚外科　→　皮膚の良性・悪性腫瘍，きずあと治療
- ・創傷外科　→　糖尿病性足潰瘍，SSI
- ・再建外科　→　頭頚部再建，乳房再建

他に顔面骨骨折，手足の先天奇形，眼瞼下垂症の症例も豊富です．

現在 4 人のメンバーで，週 4 の外来，12 床の病棟管理，年間 690 手技（2025 年 NCD 登録数）の手術を行っています．人数が少ないので少々忙しいですが，その分症例をたくさん経験できます．当直はありません．



●研修内容

週間スケジュールの1例

	午前	午後
月	外来	手術・カンファレンス
火	外勤	手術
水	外勤	手術
木	外来	手術
金	手術	手術

病棟処置もありますが，メインはとにかく手術です．形成外科専門医の取得には手術症例の経験（執刀・助手）が必要です．形成外科の手術症例は①外傷②先天異常③腫瘍④瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド⑤難治性潰瘍⑥炎症・変性疾患⑦美容⑧その他に分類されますが，当科では⑦美容を除くすべての分野を経験することができます．当科症例のみで専門医試験受験資格を得ることが十分可能です．

●キャリアパス

形成外科の研修期間は 4 年間です。最短で医師 7 年目時に専門医試験を受験し、医師 8 年目の 4 月から専門医になります。山口大学形成外科研修プログラムでは、山口県立総合医療センターや福岡県内の連携施設で研修することができます。



山口大学医学部附属病院

形成外科

●先輩（若手医師）からのコメント



令和３年より山口大学形成外科に入局した小野です。形成外科に進んで約半年の私が入局して感じたこと、形成外科の魅力をお伝えしようと思います。

まず形成外科は創傷全体を専門にしており、手術創をきれい治すことだけではなく、外傷や熱傷、褥瘡や足潰瘍といった難治性の潰瘍など幅広く“きず”を治療しています。形成外科といえば顕微鏡を使った繊細な手術を想像することも多いですが、時に大胆なデブリードマンや切断術なども行っています。また形成外科は頭の先から足の先まで、血管・リンパ管、神経など、内臓臓器以外であれば全身どこでも守備範囲としています。覚えなければならない解剖は非常に沢山ありますが、「医学の基礎はまず解剖、解剖なくして医学などできぬ・・」、と入局してから日々痛感しております。そして形成外科といえば、やはり再建が魅力の一つではないでしょうか。手術や外傷による組織欠損を、機能面・整容面をできる限り保ち、新しく作り直すというのはとても根気のいる治療で、時に深夜に及ぶ長時間の手術になることもあります。他科から依頼されることも多くあり、頭頸部再建では口腔外科や耳鼻咽喉科の先生方とも連携して診療にあたります。移植した皮弁が生着するまでとても不安な時期が続きますが、無事周術期を乗り越え、患者さんの満足する結果や QOL の維持に繋がれば、形成外科チームとしても達成感があります。

山口大学形成外科は、頭頸部再建など大学病院ならではの症例もありますが、アテロームや皮膚悪性腫瘍、足潰瘍など形成外科的 common disease も幅広く診療しています。

私はまだ駆け出し形成外科医で形成外科の基礎を勉強中ですが、有り難いことに少しずつ執刀させいただく機会も増えてきました。メスの使い方や縫合、糸結びなど、基礎的なテクニックを上級医の先生が丁寧に指導してくださり、なんとか完遂しております。

形成外科は新設されてから間も無いため、人数こそ少ないですが、先生方がとても親切でアットホームな職場です。「手術が好き、やるならとことん綺麗を突き詰めたい人」、「どんな傷口を見ても平気な人」、「アットホームな職場に憧れる人」大歓迎です。ぜひ一緒に創傷の specialist を目指して当科で研修をしてみませんか。

●お問い合わせ先

山口大学医学部附属病院　形成外科
髙須　啓之
TEL：0836-22-2270
E-mail：htakasu@yamaguchi-u.ac.jp